

## 第2期秋田市子どもの未来応援計画(素案)へ寄せられたご意見

### 1 意見募集実施方法

- (1)意見募集期間 令和3年12月21日(火)～令和4年1月18日(火)  
 (2)意見募集方法 パブリックコメント、市民100人会への意見公募  
 (3)寄せられた意見 7名(19件)

No.	意見者	該当ページ	項目	寄せられたご意見	担当課	本市の考え
1	A	—	計画全体	<p>子どもの健やかな成長と子どもを産み育てやすい環境づくりを社会全体で支えていくことはとても大事であると思います。</p> <p>子どもが親を選べない現実を前にすると、子供の貧困にかかる課題解決は、それぞれの置かれている環境が違うことから、包括的支援が重要になってきます。</p> <p>保護者自身の養育能力を高めるには、支援員の協力を得ながら、経済的支援と並行した物的支援が必要になってくると考えます。</p> <p>母子・父子世帯が減少することで、一世帯でも経済的困窮家庭が解消することを願っております。(資料34～37ページ)</p>	子ども総務課	<p>ご意見として承りました。</p> <p>今後も本計画に基づき、さまざまな課題の解決に取り組んでまいります。</p>
2	G	—	計画全体	<p>知らなかった取組があり、勉強になりました。</p> <p>これらの支援をうまく利用出来れば生活に余裕のない方たちののチカラになるのと思うのですが、二の足を踏む方も多いことにびっくりしました。</p> <p>この資料をみて、どんなに対策をしても保護者の意識が低いと何の意味もないのだろうなと思いますが、感謝している方もたくさんおられると思います。</p> <p>コロナ等で生活環境が変わった方もいるでしょうから、支援の向上に努めてください。</p>	子ども総務課	
3	F	1	計画策定の目的	<p>【第1期計画に基づいて、様々な取組を進めてきた結果、多くの目標値で改善がみられましたが】とありますが数値変化の推移や効果、加えて意味や意義が合わせて示されていますでしょうか。</p>	子ども総務課	<p>3ページからの「第1期計画の取組」において、第1期計画期間中に取り組んだ内容や、目標値を設定していた事業について実績値などを記載しております。</p>
4	F	6	第1期計画の推進状況の検証	<p>【施策 I 困難に気づき、支援につなげる】のR2実績が2,445件とありますが、この内訳は示されますでしょうか。</p>	子ども総務課	<p>第1期計画の推進状況の検証として、目標を設定していた子ども未来センターの児童家庭相談、女性相談について、目標値に対する実績値として掲載しているため、実績値の内訳については示しておりません。</p>
5	B	7	子供の貧困に関する指標	<p>大学進学率が低いことは大きな課題と思います。秋田県や秋田市の支援が充分でないことの現れだと考えられ、教育環境が県内に無いことも要因ではあるが、一人暮らしの支援なども含め、給付型奨学金を充実させてほしい。</p>	子ども総務課	<p>今後も進学を支援する施策を推進していくほか、現在実施されている給付型奨学金等の施策の周知に努めてまいります。</p>

6	F	8~30	子どもを取り巻く状況	聞き取り調査は主に保護者を対象とされていますが、本計画の当事者である子供たちから直接声を聞き取る必要性はあるとお考えでしょうか。	子ども総務課	子どもの実態把握には、子どもからの意見聴取も有効であると考えられることから、今後の意見聴取の際に検討させていただきます。
7	E	19	子どもを取り巻く状況	子供がインスタント食品を買って食べても、きちんとごはんが食べられているのは問題ないと思います。それよりもごはんを食べられない、食べさせてもらえない子供に直接的な対策を考えてほしい。 約9割の母子世帯で母が大変な事はわかるが、母親に金銭的援助をしても、子供にお金をかけてもらっているかは不明。母子共に食事を食べさせる機会など直接的に支援が確認できるものを。	子ども総務課	本計画に基づき、子どもの健やかな発育・発達および健康の維持・増進が図られるよう取り組んでいくとともに、支援が必要な子どもへ支援が届けられるよう施策の推進に努めてまいります。
8	C	31	支援者ヒアリングから見える状況	貧困は傍から見ても分かり辛い、どうやって貧困に苦しんでいるかを見つめるか本当に見つけられているのかわからないと思った。子供自身も相談したいがどこに相談すべきかわからない、親も同じであるならば、もう少し認知度を高め、だれでも気軽に相談できる環境を整備する必要があると感じる。	子ども総務課	相談機関等を掲載したリーフレットを作成し、配付を行うなど相談機関の周知に取り組んでおり、今後もさらなる周知に努めてまいります。
9	D	34	相談・支援体制に関する課題	0~18歳までの1個人の記録を担当機関が変わってもずっと連携していかなければいけないと思う。そのたびに過去の説明する労力が必要で疲れる。心の変化があった時、わかることもある。	子ども総務課	これまでも関係機関と連携しながら施策の推進を図っており、今後の関係機関との連携体制においての参考とさせていただきます。
10	D	35	教育に関する課題	高校・大学について、奨学金制度で優遇する。 秋田市指定の職場に○年以上勤務を条件に返さなくても良い。	子ども総務課	今後も進学を支援する施策を推進していくほか、現在実施されている給付型奨学金等の施策の周知に努めてまいります。
11		36	教育に関する課題	中学生以下が学習塾に行けない場合 放課後の学習指導ボランティア。高校・大学生の学内の課題や単位に組み込む。	福祉総務課	本市では、生活困窮世帯等の中学3年生を対象とした「子どもの学習・生活支援事業」を業務委託により実施しております。 いただきましたご意見につきましては、今後の実施方法等の参考とさせていただきます。
12		35	保護者の就労状況や経済的状況に関する課題	とても難しい問題と思います。少しでも良くなってほしいので。 例えば高齢者施設のような、1件の建物に母子で入居でき、共同の食堂、トイレ、風呂があり、そこで仕事もできる場所とする。入居者は炊事、そうじ、せんたく、保育など能力、体力、適正に応じて仕事をする。母同士、子供同士の交流があり、勉強を教えあったり遊んだりする。外部から職員が勤務、相談員、補助員、ボランティアなど出入りする。	子ども総務課	今後の子どものや保護者の生活支援施策においての参考とさせていただきます。

13	C	40	学齢期の子供の居場所づくり	<p>放課後児童健全育成事業で自分自身も3人の子供がおり、今後は2人が小学生になった時点で放課後児童クラブ(学童クラブ)に所属することとなるが、夏、冬期は暖房や冷房費用という名目で実際に一覧に掲載されている金額よりも5,000円程高く請求される。(登録費用をしっかりと掲載すべき)</p> <p>そして二人が学童保育に所属する事で年間約30万の出費となる。6歳から9歳までお願いする事を考えると3年で100万近い出費となる。成長をはぐみ切れ目なく支える為には施設をしっかりと設けることも大切だが、その負担費用は家計を圧迫することに繋がる。</p> <p>登録事業者も経営を考えると非営利団体ではないので費用は発生するのも判るが、世帯所得が高くない世帯で、日中仕事をしている両親がいて、小学校下校後の保育ができない環境下の人は常に沢山の出費を強いられる。(P22世帯収入がネックで子供に学習塾やスポーツを断念せざるを得ない状況を作っている要因の一つになるとも考える。子供が将来成長しお金が掛かることを予想し貯蓄することもままならない)その学童保育の負担を市、県でもう少しどうにかできない物かと思う。</p>	子ども育成課	<p>いただいたご意見を参考としながら、放課後の子どもの安全・安心な居場所づくりを推進するため、放課後児童クラブ利用者の負担軽減に努めてまいります。</p>
14	B	41	子どもの生活支援	<p>親が子どもに十分な注意を払わない場合は、多くの子どもに対する支援が滞ります。子どもへ直接支援できる施策を充実させるべきと考えます。</p>	子ども総務課	<p>支援が必要な子どもへ支援が届けられるよう施策の推進に努めてまいります。</p>
15	B	42	保育・教育の機会を確保し、環境を整える	<p>貧困の連鎖からの脱却だけでは不十分。誰でも貧困に陥る可能性があり、学校などと連携して把握に努め、プッシュ型支援の充実を図ってほしい。</p>	子ども総務課	<p>今後も関係機関と連携しながら、課題の解決に取り組み、支援が必要な方へ支援が届くよう努めてまいります。</p>
16	B		その他	<p>秋田市子どもの未来応援ネットワーク会議の委員について、支援を必要とする方や、過去に支援を受けた方などもメンバーに加え、現実的な施策となるよう見直して欲しい。</p>	子ども総務課	<p>今後のネットワーク会議運営の参考とさせていただきます。</p>
17	D	43	保育・教育の機会を確保し、環境を整える	<p>子育て支援のひとつとして、学校給食を全員無料にする。親の安心感が増すと思います。</p>	学事課	<p>学校給食費の無料化については、年間で約12億円に及ぶ多額の経費が必要となることから、実施は難しいものと考えております。</p>
18	E	44	保護者の就労支援	<p>働けない理由が希望する条件で仕事が見つからないなら市でやとったらいいのではないか(母子世帯専用就労) 親に問題があるかどうかも総合的に判断しやすいし管理しやすい。</p>	子ども総務課	<p>保護者の就労支援施策についての参考とさせていただきます。</p>

19	F	—	その他	秋田市民が「共助」として本計画に参加できる施策は策定されますでしょうか。	子ども総務課	現在、市民が参加可能なフードドライブなど、実施されている施策の周知に努めるほか、今後、市民参加が可能な施策について検討してまいります。
----	---	---	-----	--------------------------------------	--------	---